

3分野の計画統合((仮称)総合福祉計画)に関する考え方

1 計画統合の背景

背 景

- 複雑化・複合化している課題の中で、単独の分野での検討ではなく、幅広い視点での施策の検討が必要
- 重層的支援を進める中で、地域福祉・障がい福祉・高齢福祉が重なる領域が拡大し、一体的な推進を要求
- 社会福祉法の改正における権利擁護支援拡充に対応した福祉行政の展開
(中核機関法定化、身寄りのない高齢者支援、新たな日常生活自立支援事業の実施)
- 支援人材を含む担い手不足は分野を問わない課題
- 急速な社会環境への変化に対応するため、方針としての計画本編と、実行するための進捗管理の整理

統合の 考え方 (方針)

芦屋市全体として目指す福祉の方向性を明らかにしながら、
俯瞰的に施策を検討し、
分野を問わず**連携**して取組を推進していくために
計画の**統合**を行うもの

- 分野を問わない支援の検討
- 庁内や多機関の連携推進
- 制度福祉に止まらない社会参加・地域づくりの推進
- 法定計画としての位置づけと実務におけるプランの整理

2 (仮称)総合福祉計画の理念

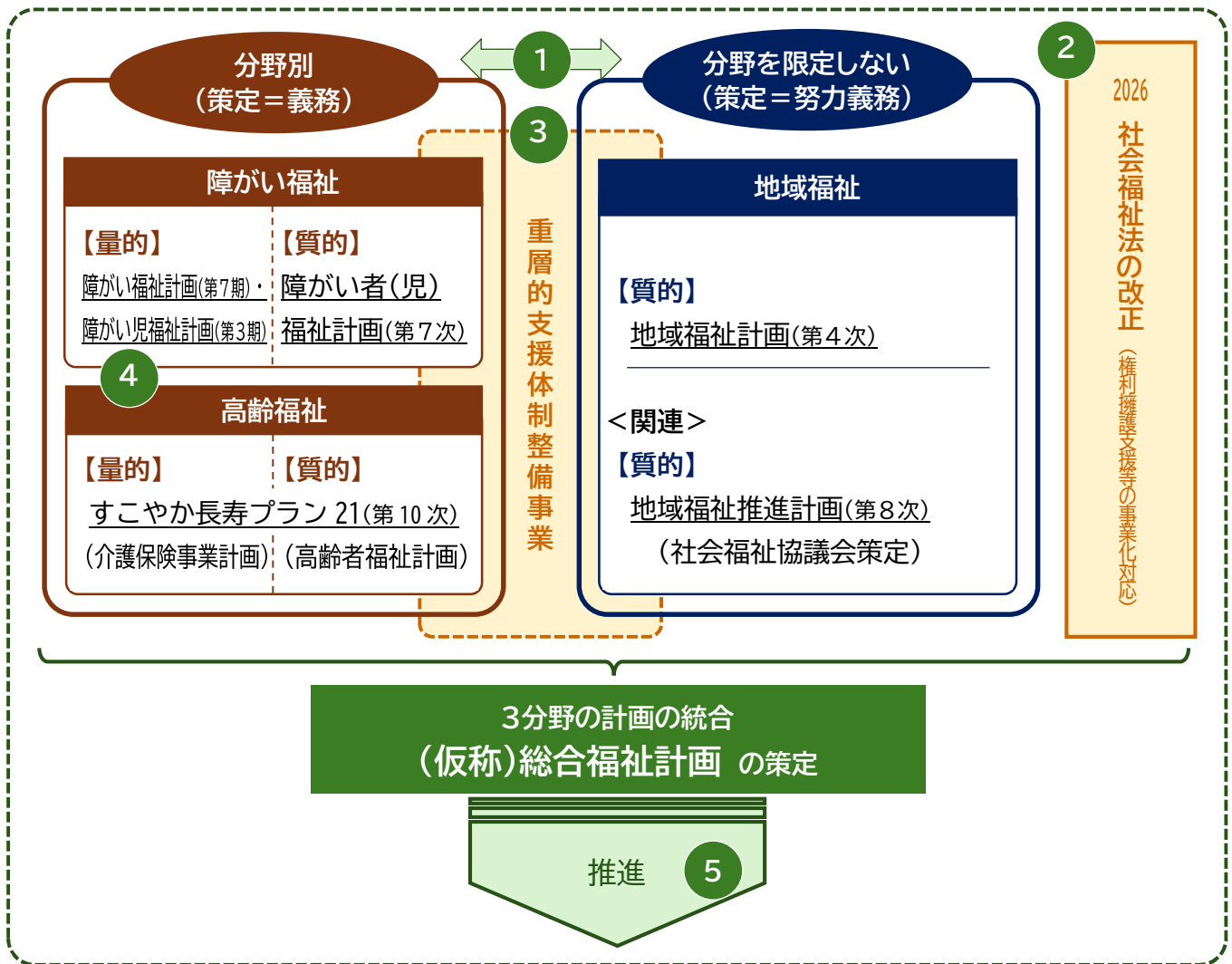
【現行計画の理念】

地域福祉計画	みんなの参加と協働により、誰もが心地よく暮らせる共生のまちづくりを進めます
障がい者(児)福祉計画	障がいのある人もない人も、住みなれた地域で自分らしく輝いて暮らせるまち 芦屋
すこやか長寿プラン 21	高齢者がいつまでも、いきいきと安心して暮らせるまち

【次期計画の理念に組み込みたい要素】

・共に生きる（共生）	・自分らしく	・誰もが（包摂）
・心地よく	・生き生きと	・住み慣れた地域で
・支え合い	・主体性（参加）	・つながり（絆）
・尊厳	・持続可能	・住み続けられる など

3 計画統合化の戦略



計画統合化の戦略

統合化の戦略を展開する6つの領域と評価

1 共通の取組や課題への対応を3分野が一体となって効果的に推進

2 協働による権利擁護支援等の実施

3 参加支援・地域づくりによる支え合いの基盤を重視し、庁内連携や多機関の協働など、重層的な支援等を推進

4 各分野別の必要なサービス量の確保

5 戦略的視点を踏まえた計画の一体的評価

地域の人とのつながりを大切にしながら、本人の意思を尊重し、権利が守られ、社会参加できる共生の地域社会づくりを目指す。
(1)権利擁護支援 (2)社会参加の推進 (3)地域づくり

制度の狭間問題等への対応を図るため、制度・サービスの質向上や支援者・家族・地域への支援、関係者の協働が進む体制構築を図る。
(4)制度等を担う支援者支援・協働体制の整備 (5)家族・地域(非制度の担い手)の支援体制

高齢・障がいの両分野におけるサービス整備などフォーマルな支援の充実を目指す。
(6)サービス整備等に関する施策の充実

計画の実効性向上と柔軟な改善を図る
 進行管理・評価の協働の場を整える。
<戦略志向の計画の評価と改善>